

南部中学校での生活

～みんなが楽しく中学校生活を送るための約束事～

<登校>

- 余裕をもって登校し、先生や友達、地域の方々にも元気よく挨拶しましょう。
- 交通ルールを守り、必ず通学路を通りましょう。
- ヘルメットをしっかりとかぶりましょう。(アゴひもをしっかりと締めましょう)
- リュックのベルトはきちんとしめましょう。リュックを背負って自転車に乗ります。荷台に荷綱を使ってくくりつけても良いです。
- 登下校は原則制服もしくはジャージです。冬季はウインドブレーカー、コート等の防寒着を着ても良いです。
- 7：50以降に登校しましょう。遅くとも5分前には校門を通過できるように、時間にゆとりをもって登校しましょう。
- 8：10までに1時間目の授業の服装に着替えて着席しましょう。着席できていなければ遅刻となります。(朝清掃や1時間目の授業が保体などの時はジャージ可)
*各自荷物をロッカーにしまい、机の中に勉強道具を入れ、着席できるようにしましょう。
- 自転車の鍵は必ず抜き、キーホルダーをつけるなどして、保管場所を明確にしましょう。また、ヘルメットは必ず教室に持って行きましょう。

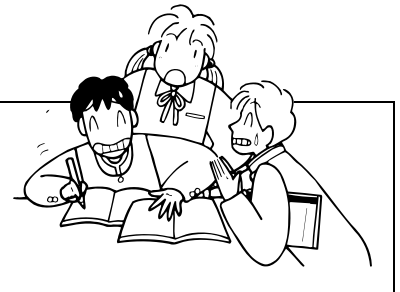
<授業>

- 授業開始2分前には着席しましょう。
- 授業前規律を徹底しましょう。

① カバンの中にジャージを入れる。 → カバンをロッカーに入れる。

*ロッカーの上に私物は置きません。

- ② 机の整理・整頓をしましょう。
- ③ 床のゴミを拾いましょう。



- 話の聞き方(話し手の方を向いてしっかり話を聞く)をきちんとしましょう。
- 教科書等道具の貸し借りは原則としてできません。(感染症対策にもつながります)

<休み時間>

- 次の授業の準備やトイレ、特別教室への移動時間にあてます。(原則、他学年のフロアを通らずに移動)
- 係・当番は黒板と黒板消しをきれいにしておきます。授業の準備をしておきましょう。
- 他の教室へは入れません。また、他の学年のフロアへの行き来も禁止です。
- ベランダに許可なく出ないようにしましょう。(体操服等を干すこともしません)

<給食>

- 4校時終了後、給食当番はすぐに手を洗い身支度を整え、白衣・マスクを着用し、髪の毛が帽子から出ないようにしましょう。

- 4校時終了後、手洗いをしてすぐに着席をします。着席後は、無言で読書をして配膳完了を待ちましょう。当番の人は無言行動（食器の運搬・配膳）をします。
- 給食室の方に感謝し、給食はできるだけ残さずに食べましょう。マスクは机の上には置きません。
- 黒板は昼休みに消しましょう。
- 食事の始まりと終わりは全員そろってあいさつをしましょう。



<清掃>

- 清掃はジャージ・体操服で行います。ジャージの下はYシャツやセーターでも構いません。
- 上ジャージを着用せずYシャツで行っても構いません。
- 班長は、開始と終了を確認し「おねがいします」「ごころうさまでした」のあいさつをしましょう。また終了後は、必ず手洗いをします。その後、すぐに帰りの会の準備をします。
- 清掃用具は大切に扱います。
- 必要の無い話をせず、清掃に集中して取り組みます。

<下校>

- 用のない人は学活終了後すぐに帰ります。また、部活動のある人は荷物を持って速やかに活動場所へ移動しましょう。
- 係や当番の生徒は、各自の分担にしたがって教室内の整理整頓や戸締まりを行います。
- 下校時の服装は原則制服、もしくはジャージとします。ただし、部活動に参加した生徒は部活動の格好でも構いません。
- 自転車通学者は、ライトをつけて安全に下校しましょう。

<その他>

- 保健室利用は、必ず学級担任・教科担任（いなければ学年職員）に連絡し連絡票を持って来室します。
- 自転車の乗り方について指導を受けた場合、内容によっては家庭へ連絡、使用停止や禁止になります。
- 南部中の生徒としての自覚をもち、地域に迷惑のかかる行為は慎みましょう。

<服装や頭髪について>

- ①制服 本校指定の標準服を着用します。
- ②名札 登校後、左胸につけます。
- ③上履き 学年色の指定靴 *令和6年度の学年色は 1年…赤 2年…緑 3年…青
- ④カバン 本校指定のリュックサック
- ⑤体操服 本校指定の体操服・ハーフパンツ・ジャージ
- ⑥靴・靴下 靴は運動に適した、履きやすいもので高価でないものを各自で準備します（色は特に制限はありません）。靴下は、白、黒、紺色で、柄はワンポイントまでとします。
- ⑦頭髪 ヘルメットがきちんとかぶれる髪型にしましょう。また、学習に支障のない程度とし、前髪が目にかからないようにします。髪の毛が肩にかかる時は、安全を図るため、ゴムで結いましょう。ゴムは黒・紺・茶などの目立たない色で、飾りのないものとします。
- ⑧その他 持ち物すべてに記名をし、不要なものは持ってきません。
(例：遊び道具やマンガ・現金・時計・携帯電話・スマートフォン等)